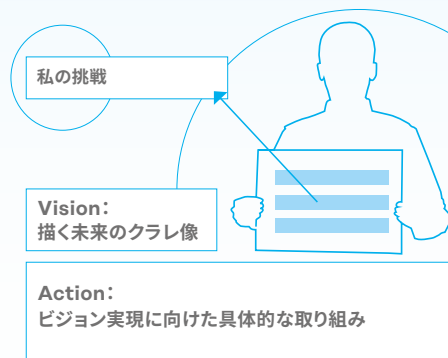


挑戦の先に描く 未来ビジョン

当社は2026年に創立100周年を迎えるにあたり、この先の未来に向けて「何を目指し、何を行うか」を検討するワークショップを創業の地・倉敷で開催しました。多様な職種・拠点から次代を担うグローバルなメンバーが集い、グループを取り巻く未来を想像し、ありたい姿を考えました。

ここでは、参加メンバーが描く未来のクラレ像と、その実現に向けた一人ひとりの挑戦を紹介します。



未来へとつなげる：イノベーションとサステナビリティの取り組み



Alberto Alarcon

Kuraray America, Inc.
Advanced Interlayer
Solutions Division

従業員の成長とグローバル
インパクトを重視する、持続
可能なイノベーションリーダー

戦略的コミュニケーションにより、高機能中間膜事業部のサステナブルな取り組みと革新的ソリューションを広めることに注力しています。その一環として、最先端の開発や環境への取り組みを広く紹介し、ブランド認知の向上に努めています。今後も、当社ビジョンに沿い、顧客エンゲージメントと協力的パートナーシップをさらに深化させるとともに、チーム内の継続的な学習と開発の文化を育てていきます。

石炭の調達から消費者の手に届くまで、すべてをサステナブルに



Anja Laqua

サステナビリティ推進本部

「サステナビリティ」が
日々の業務に深く浸透し、
改めて意識するまでもない
レベルに到達している

グローバルサステナビリティ調達とサステナブル・モニタリング担当者として、クラレグループのサプライチェーンが社会的要請の変化に伴って直面するリスクの緩和と軽減に取り組んでいます。サステナブル・モニタリングは、サステナビリティ開示要請や規制の動向を監視し、将来生じる要件が企業活動のリスクとなる前に把握するのに効果的なツールであり、クラレがサステナブルリーダーの立場を確立するために役立ちます。

知財をつないで
価値を紡ぎだす



麻生 暢子

IPマネジメントセンター
兼 研究開発本部 知的財産部

不易流行の精神で、新しい
価値を世界に提案し続ける

全世界のクラレグループが創業以来培ってきた、独自の知識やブランドも含む知的財産の最大限の活用を推進しています。新しい価値に“安心”を添えて世界に届けるべく、粹にとらわれない知財コラボレーションをどんどん生み出し、変化し続けるOne Kurarayを実現します！

新素材で起こす
イノベーション



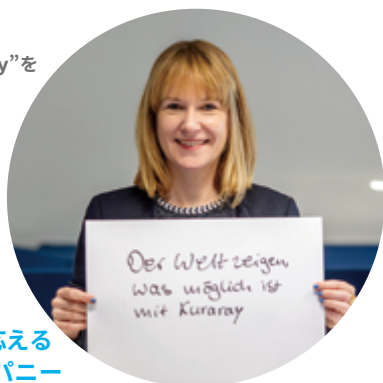
立花 祐貴

研究開発本部
くらしき研究センター
融合技術領域探索グループ

ユニークな観点で新事業
を継続的に生み出し続ける

クラレ独自モノマーのポリマー展開を構想しており、新たなオンラインワン素材の実現に向け邁進しています。クラレの強みを常に意識しながら、将来大きく花開く新事業、イノベーションの創出にチャレンジし続けたいと思います。

“Possible with Kuraray”を
世界に示す



Carmen Mundt

Kuraray Europe GmbH
KEG Corporate
Communications

一丸となって顧客に応える
真のグローバルカンパニー

クラレはグローバルに展開する大企業であり優れた事業を有しながら、世界的な知名度はまだ低く、私たちの製品やサービスのポテンシャルはお客様に十分に認知されていません。私は欧州におけるコーポレート・コミュニケーションを担当しており、地域、企業、製品をつなげてクラレの可能性を広く知ってもらうことに取り組んでいます。

何事もまずは自分から!



井口 利之

技術開発センター
成形技術開発グループ

強い情熱を持った技術者が
集い、技術力で社会に
貢献し続ける

クラレの技術開発の未来を担う若手が生き生きと育つ環境をつくりあげるため、自身もグローバルに活躍し、技術基盤の構築と活力ある職場づくりに取り組んでいます。若手とベテランの力を融合させ、強い情熱を持って困難に挑戦し続け、課題を解決する技術者集団となることでクラレの利益に貢献したいです。

驚きの“クラレ体験”を



下田 康平

西条事業所
フィルム生産・技術開発部

お客様だけでなく、ともに
働く従業員や地域社会にも
高品質の“クラレ体験”を届ける

お客様によりご満足いただけるような高品質な光学用ポリアルフィルムの開発に取り組んでいます。また、社内外の色々な活動に参加しては、従業員にとって、より良い職場にするためには何ができるかを日々考えています。製品の開発だけでなく、職場も“開発”していくことで、クラレの社会的価値をさらに高めていきたいです。

新たな連携により
革新的な企業へ



柳田 海人

Kuraray Europe GmbH
BU Industrial Fibers

独自の技術や知見を組み
合わせて、強い事業を
どんどん作り出す

産業資材用繊維の欧州向け営業・マーケティングを担当しています。長い歴史のある事業を、サステナビリティなど欧州ならではの角度から再評価し、ビジネス拡大につなげようと奮闘しています。他部門の専門的知見とも組み合わせることで、さらに独自性のある強いビジネスを創り出したいです。

100年を起点に、
さらなる企業の発展へ



銭 東海

可丽丽贸易(上海)有限公司
弾性体部

「ESG重視の持続可能な
発展」に基づく長期的成長
のための堅固な基盤確立

中国でエラストマービジネスの拡大に取り組んでいます。中国におけるサステナビリティの重要性は年々高まっています。お客様にクラレ製品を紹介する際、“環境・社会・ガバナンス(ESG)”に配慮した会社であることをお伝えし、会社の信頼性を高めるとともに、ビジネス拡大を通じて、中国での企業認知度向上を目指します。

プレミアムを生み出す



先崎 茜

経営企画室 IR・広報部

世界中の社員・顧客・
地域に共感され、
信頼され、選ばれる

クラレグループの世界におけるブランド価値とプレゼンスの向上を目指し、グローバルブランディングや100周年に向けた活動をリードしています。クラレが社会から信頼できる企業として認知され、持続的な成長を期待される存在となるように、そこで働く社員一人ひとりがグループの一員であることを誇れるように、多様な仲間とともにクラレのプレミアムを高め続けていきます。

ユニークな文化的多様性を生かして、明日のイノベーションを創造



Robin Conrad
Kuraray Europe GmbH
Elastomer Division

多様性を融合した独自の企業文化を競争力として、業界を牽引する

エラストマー事業のマーケティングチームリーダーとして、多様性を持つポテンシャルを日々実感しています。国や役職の垣根を越えて多様性を促進し、従業員のエンゲージメントを高めて、これをクラレの原動力にできると考えています。課題はありますが、多様性を「クラレ独自の文化」として大切にしていくことにより、顧客に感動をもたらす世界をより良くするようなソリューションを創出できる、真の競争力を獲得できます。

グローバルな協力でシナジーを生み出し、プロセスを改善



Jennifer Decaro
Calgon Carbon Corporation
Finance Department

多様性を生かしてグローバル・チームの強化・連携を促進し、さらなる成功を目指す

世界各地の同僚とのつながりを持つ機会を得て、クラレの持つシナジーの可能性に気づきました。慣習的な組織の縦割り構造を破り、私の知識や地理的な領分を越えて機会を求めることにより、より多様で新しい視点と幅広いスキルを得て、新しいアイデアを創出したり、現状のプロセスを改善できる社員となることを目指します。

知識を分かち合うことで、技術者たちにひらめきを



Joost Cuyckens
EVAL Europe N.V.
Technical department

安全で挑戦できる技術環境で、技術者同士が刺激し合い、イノベーションを創り出す

各拠点の技術者チームは、グローバルな連携を通じて技術設計のノウハウ習得を加速しOEMサポートを強化することを求められています。この目的のため、私たちは各拠点の特定分野の専門家が集うグローバル組織の設立を提唱しています。組織活動は若手技術者を刺激し、新技術や知識を探索する機会を与えます。同時に、ベテラン技術者には新たな洞察や視点を与え、才能ある後継者の育成に役立てることができず。これにより、事業を支援する革新的なアイデアの創出と、継承計画を同時に確保できます。

現場の意思決定を最速化



木澤 崇
経理・財務本部
大阪経理財務部

バックオフィスDXで生き生きとしている

株主や経営陣だけでなく、従業員も日々会社に関わる意思決定を行っています。さまざまなステークホルダーの意思決定を支えるのがバックオフィスの役割だと思います。DXで会社に関わるすべての人に活力を与えたいです。

素材から、世界を笑顔に



菅井 直人
ジェネスタ事業部
営業部

クラレの素材で、世界中に幸せを創り出す

クラレの独自素材(ジェネスタ)の市場拡大を進めています。モノづくりの課題解決に貢献する(ジェネスタ)を通じ、作る人、使う人など関わる方々の笑顔を創り出します。将来的には、世界中でクラレ素材共創の輪を広げ、さらに幸せな世界を実現していきたいと考えています。

クラレのファンづくり



鈴木 賢世
経営企画室 IR・広報部

社会から信頼され、愛され、そして応援され続ける

IR・広報部で社外に向けた情報発信を担当しており、この「クラレレポート」を制作しています。私の役割は、社員一人ひとりの挑戦により生み出される価値に光を当て、それを社会に分かりやすくお伝えすることです。今後も情報収集、発信に一層励み、クラレへの信頼と期待の獲得に寄与します。